

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	バ			R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ R3	観光地としての魅力的な景観形成を図るため、国道及び県道沿いに花木の植付を行い、町ぐるみで花いっぱいの環境づくりを行う。	・プランターへの植付=1,191基 ・町花壇、観光アクセス道路沿い植栽マスの植付	観光地の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じたか(80%以上)を含め、観光客に対するアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に花木の植付を行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な景観形成が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
1	②	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ R3	地域住民の生活圏や観光施設周辺などにおいて、ハブが多く出没していることから、捕獲機設置による駆除を実施することで、地域住民や観光客の咬傷被害防止を図る。	ハブ捕獲器を町内約550カ所に設置	ハブによる咬傷被害件数0件	【今後のスケジュール】 今後も継続的に捕獲器設置による駆除を行い、咬傷被害防止を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 咬傷被害件数0件を目指し、設定した。
1	③	伝統興行観光化事業	H25 ～ R3	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用し、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催することで、観光客の誘致を図る。	伝統興行の実施 <u>1</u> 回 もとぶ元気夕市の実施 <u>21</u> 回	闘牛・闘山羊大会来場者数: <u>533</u> 人 もとぶ元気夕市来場者数: <u>5,376</u> 人以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的にイベントを定期開催し必要な整備を行うことで、観光客の誘致を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	①	園芸農業防災施設整備事業	H24 ～ R3	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の出荷量向上を図るため、台風対策用の強化型パイプハウスの導入を行う。	農業用施設整備の支援	強化型パイプハウス設置の完了	【R5成果目標】 パイン収穫量1,400kg以上(1棟当たり) 【今後のスケジュール】 今後も継続的に強化型ハウスの整備に必要な支援を行い、出荷量の増加を図る。	【R5成果目標設定の考え方】 沖縄県農林水産部作成品目別技術・収益性事例(果樹編)のパインの収量を参考にして設定した。
2	②	もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ～ R3	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入の支援を行う。	優良母牛導入の支援	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合109%以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に優良母牛の導入支援を行い、農家の経営の安定化に向けて、ブランド化を推進する。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
2	③	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ R3	本部町の地域の特性を活かしたもとぶ産品のPRや販売支援員の配置、物産展等への出展等を支援し、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	・商工会への支援の実施(メイドインもとぶ産品のリスト化) (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援) (県内外物産展等への出展支援)	新規取引契約数 10件以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特産品PR及び販売支援を行うことで、もとぶ産品の新規取引先の拡大を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去実績を勘案し設定した。

R1活動目標(指標): 令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標): 令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業番号	事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
バ	細				R2事業内容	R2活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
2	④		もとぶ産業クラスター形成事業	H29 ～ R3	町内特産品製造事業者の特産品開発に係る助言や製造機械の導入の支援を行い、開発製造環境の向上を図る。	・もとぶ産品製造事業所の支援(ブランディング) (製造環境の向上) (事業所連携による新たな特産品の開発)	特産品の開発支援の完了	【R3成果目標】 販売目標達成率:100% 【今後のスケジュール】 R2 特産品の開発支援(完成) R3 開発特産品の販売開始	【R3成果目標設定の考え方】 特産品が販売開始され、事業効果が現れるR3年度の販売目標達成率を設定した。
2	⑤		農水産業担い手支援住宅整備事業	R1 ～ R3	農業及び漁業の新たな担い手確保のため、農水産業担い手支援住宅を建築し、産業振興及び定住促進の推進を図る。	・産業支援住宅の実施設計、土地調査測量業務及び用地購入の実施	・産業支援住宅の実施設計、土地調査測量業務及び用地購入の完了	【R4成果目標】 基本計画の中で、整備戸数を設定し、全戸数の担い手の入居を目指す。 【今後のスケジュール】 R2 実施設計・測量業務 用地購入 R3 建築工事 R4 供用開始	【R4成果目標設定の考え方】 基本計画で設定した戸数を設定する。
3	①		本部型就業意識向上支援事業	H29 ～ R3	町内小中高校生の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップ等を行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。	ジョブシャドウイング、職場体験、インターンシップの実施(9校) 教職員向けマナー研修の実施(1回) 企業プレゼン大会の実施(1回) 町内企業体験学習会(わくわくワーク)の実施(3回)	働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、小中高生へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に産学官の連携したキャリア教育を行い、働くことを考えてもらいきっかけづくりを行うことで、勤労観や職業観の育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が町内産業への理解や興味が深まったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
4	①		本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ R3	町内小・中学校に学習支援員等を配置し、国語、算数・数学、英語及びその他の主要教科において児童生徒の学力に応じた個々の学習指導等を行うことにより、学力の向上を図る。	・町立小学校 4校へ配置 ・町立中学校 3校へ配置	令和2年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -6.6ポイント以上 中学校 -4.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 今後も継続的に学習支援員等を配置し、児童生徒の学力に応じた学習指導等を行うことで、学力の向上を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。
4	②		本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ～ R3	海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材を育成するため、夏休みを利用し町内中高生を英語圏へ短期間派遣する。	町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(3週間)	短期留学から帰国した生徒の国際的な視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に町内中高生を英語圏へ派遣し、海外での生活や体験を通して、国際的な広い視野を持つ人材の育成を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が国際的な視野が広がったといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

令和2年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧

本部町		事業名	計画期間	事業概要		R2成果目標(指標)	備考	
事業番号	R2事業内容			R2活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
バ 細								
4	③	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ R3	特別な支援を要する園児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを派遣することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員 8名配置 スクールソーシャルワーカー 2名配置	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 今後も継続的に特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数の保護者が園児児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善が図られたといえる数値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
5	①	本部港本土航路開設支援事業	R2	本土航路の開設及び維持を支援するとともに、接岸及び荷役に必要な安全設備を整備し、航路の安定化を図る。	東京・大阪航路の運航(週1回) ※悪天候や船舶整備点検時を除く。	1寄港あたりの平均積貨物量:444t/回	【今後のスケジュール】 東京・大阪航路開設の支援を行い、航路の安定化、継続を図る。	【R2成果目標設定の考え方】 過去の実績を勘案して設定した。

R1活動目標(指標):令和元年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R1成果目標(指標):令和元年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。